

# 令和6年度 港区関連予算（案）概要

## 【1 区長（区CM）が関与する予算額】

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（案）
港区役所予算	961,388	1,157,545	1,504,815	3,064,776	3,385,828	860,226
うち区長自由経費	352,487	549,859	913,073	2,497,177	2,852,395	450,821
うち区CM自由経費	608,901	607,686	591,742	567,599	533,433	409,405

※ 人件費除く

区長自由経費は、区庁舎設備維持費や防災対策事業など、区へ財源配分され区が実施する事業の経費です。

区CM（シティ・マネージャー）自由経費は、スポーツ施設指定管理運営費や公園管理運営費など、区で調整を行いますが、局へ財源配分され局が実施する事業の経費です。

区長自由経費における5・6年度の差額の主な理由は、港区土地区画整理記念・交流会館整備事業完了に伴うものです。（令和5年度予算：2,477,702千円）

それぞれの事業別予算については、別紙をご参照ください。

## 【2 重点的に取り組む事業】

○港区エリア別活性化プラン等の推進 〈令和6年度予算額：13,835千円、令和5年度予算額：8,787千円〉

【概要】 令和3年4月策定の「港区エリア別活性化プラン」に基づき、港区の各エリアの特性に応じた中長期的なまちづくりを推進していく。

【工夫点】 万博開催やIR誘致を港区の活性化につなげるため、活性化プランに掲げる施策の再検討・再構築を行う。各エリアの地域資源を活用した新しいまちづくりや先端技術の展開につなげるための実証実験の実施や、公共空間の利活用による定期的なマーケットの開催など人が集まる仕組みを活用して個性あるまちの魅力を発信する。

○不登校生徒支援事業 〈令和6年度予算額：5,316千円、令和5年度予算額：5,327千円〉

【概要】 不登校による学力低下・進学・就職等への影響は将来の貧困につながりかねないことから、不登校からの回復に向けた支援を行い、貧困の連鎖や新たな貧困を生むことを抑制する。

【工夫点】 区内中学校を対象に、ボランティアサポーターによる登校支援や学習支援に加え、校内に開設している居場所を活用し、不登校からの回復に向けてボランティアベースで対応できる支援に取り組む。

○学校跡地を活用したまちの活性化事業 〈令和6年度予算額：2,904千円〉

【概要】 学校再編によって生じる学校跡地において、防災拠点機能を継続するとともに、地域内の児童数の回復とまちの活性化を図るため、学校跡地の活用に向けた調査を行う。

【工夫点】 地域住民から求められてきた「防災拠点等の機能継続」、「児童数の回復に繋がるような魅力ある機能の誘致」について、学校跡地及び既存建物を借地・借家として活用することで、まちの活性化に取り組む。

○コミュニティ育成支援事業 〈令和6年度予算額：17,402千円、令和5年度予算額：12,302千円、〉

【概要】 各種コミュニティ事業を区民主体で実施できるようコーディネートし、コミュニティづくりの推進に携わる人材の発掘・育成及び地域コミュニティ活性化に繋げるとともに、もと市岡商業高等学校を活用し、万博の機運醸成を図りながら、地域コミュニティづくりを推進する。

【工夫点】 幅広い住民や各種団体等と組織体を構成し、各種コミュニティ事業を通じ、地域コミュニティの形成を図るとともに、もと市岡商業高等学校を活用しながら、万博の機運醸成に資する取組みを行う。

○万博に向けた機運醸成の取組み（もと市岡商業高等学校鋼板塀等の装飾） 〈令和6年度予算額：5,500千円〉

【概要】 2025年の大阪・関西万博開催に向けた機運の盛り上げのため、万博会場の隣接区・大阪の「ニシ」の玄関口である弁天町駅周辺の装飾を、区民参加型の取組みとして実施する。

【工夫点】 万博への理解を深めるとともに、区内の児童・生徒等にイラストを作成してもらい、弁天町駅に近接する、もと市岡商業高等学校の鋼板塀等の装飾を行うことにより、まちぐるみで万博への参加意識を向上させる。